

懇談会での意見と回答

◆留学経験から感じた日本（安城）の良さについて

フリーWi-Fi・Fii(※)の整備を

●意見 ヨーロッパでは、フリーのWi-Fiがいたる所にある、特に登録していなくても使えることが多いです。日本は登録していないと使えないので、もっと整備してもらいたい。

● **回答** 現在、フリーWi-Fiは、中央図書館と市民交流センターの2カ所に整備しています。6年後の東京オリンピックに向けて、海外の選手たちが前年くらいから合宿などで来ることがあると思いますので、市の主要施設への整備を検討していきます。

※ケーブルを使わず無線通信を利用し、データをやりとりする仕組みのこと。無料でインターネットに接続できます。

◆家庭・地域と学校・幼稚園・保育園間の子育て連携について

●意見 雇用の延長が進んでいますが、職を離れても元気な人が多く、自宅で草取りをして過

◆拠点活性化とステイプロモーション

「きーぼー」を活かしたまちづくりに支援を

●意見 「きーばー」は、願いの精。安城中央商店街連盟として「きーばーの街宣言」をしています。経済効果や、にぎわいを作ることが大切。にぎわいのあるところに人は集まります。商店街として一生懸命に取り組んでいきますので、市としても支援をお願いします。

●**回答** 「きーぼー」は、シティプロモーションの重要な素材として考えています。「きーぼー」を活用し、いろいろなイベントを展開していきたいと思っています。各商店街の皆さんには、拠点施設のオープンに向け、中心市街地区域内で楽しくまちなかを回遊できる多くのソフト事業を展開していただきたいと思っています。

中心市街地拠点施設を軸としたまちづくりは、商店街・住民行政とが一体となり進めていくことが必要である考えます。

◆地域とつくる健康について

●意見
地域のケア会議・おし

ごしている人も多いと聞きます。
 このような人にボランティアで、
 見守り、通学立ち番などをして
 もらえる体制ができればと思い
 ます。

● **回答** 青少年健全育成事業の中で子どもを地域で守り育てるために、「こども110番の家」や「地域のおじさんおばさん運動」の制度を作っています。子どもが不審者を見かけたときに駆け込める先が「こども110番の家」です。また、子どもを守るための「地域のおじさんおばさん運動」には、市内で1083人に登録いただき、子どもたちへの声かけなどをお願いしています。登録者の多くは60歳以上です。これからこの人数を、さらに増やしていきたいと考えています。



◆環境施策とエネルギー
環境についてのさらなる情報発信を

●意見 近隣の豊田市は「環境都市加速プログラム」の中で、市の取り組みをわかりやすく伝える情報発信拠点」とよたエコフルタウン」を造り、次世代スマートコミュニティを提案しています。安城市も環境についての情報発信を「見える化」してはどうか。

●**回答** 本市では、「とよたエコフルタウン」のような大規模な実証事業における情報発信拠点の整備は、現状では難しいと思いますが、市民への情報発信は重要であると考えています。今まで「ごみ減量30%」「自転車レーン整備」「エコポイント制度」など実生活の中で環境を考えてもらうことに重きを置き、事業展開や情報発信



をしてきました。今年度もエネルギーの最適利用を通じ、スマートコミュニティを旨とする第一歩として、民間企業との実証実験「超小型電気自動車のカーシェアリング」事業を実施します。提案いただいた事業の「見える化」に努め、再生可能エネルギーなどの効率的な利用を図り、魅力的な低炭素なまちのイメージを市民に発信できるように検討していきたいと考えています。

やべりの会や病気の相談ができる暮らしの保健室などを住民主導で開催したいと考えています。

そのための場所や支援モデルを提供してほしい。そうすれば、いろいろな場所で催しができ、輪が広がります。インフォーマルネットワーク(※)が広がることで、地域で高齢者が生き生き健やかに生活できる。そうした活動への手助けをお願いします。※個人的な人脈を通じて情報を収集したり、発信したりするネットワークのこと。

●**回答** 本市には町内会単位で、町内福祉委員会があり、非常に熱心に活動していただいています。その活動が高く評価され全国モデルになっている委員会もあるほどです。

●**回答** 本市には町内会単位で、町内福祉委員会があり、非常に熱心に活動していただいています。その活動が高く評価され全国モデルになっている委員会もあるほどです。

福祉、防犯、防災の根本は一緒。とにかく、一声かけよう。地域の声かけが、防犯、防災、福祉につながります。町内会単位から、中学校区単位に広げて、さまざまな活動を一緒に開催している地域があります。中学校区では医療介護の専門職が入り、「こんな風にする」とより手厚い見守りができます」とのアドバイスをいただく「地域ケア会議」を開催しています。本市では、他市に比べ地域ごとに自主的な活動が活発です。いろいろな人

の熱意を冷まさないように、良い形で支援していかなくてはと考えています。

◆図書情報館に期待すること

市民が集まりたくなる図書情報館に

●意見 中心市街地に図書館ができると聞きました。市の中心市街地活性化のために市民が集まりたくなる図書館、特に小さい子どもを連れて行きやすい施設にしてほしい。また南吉生誕百年事業を通して、南吉に親しむ空気が市民に広がったと思います。安城の特色を県内外にアピールするため、南吉のまちという特色を活かした図書館情報館にしてほしい。現時点での具体的な施設計画をお聞かせください。

●**回答** 図書情報館での重点サービスの一つとして「子育て支援室」「相談室」「授乳室」などを設け、保育士が常駐した対応を検討します。また、あんぱくや公民館の「つどいの広場」のような、子育て中の親子が自由に集えるスペースも作ります。

学習・閲覧スペースは、現在の4倍以上、500席余を用意します。さらに、畳の間の「南吉コーナー」を作り、その周りには



南吉作品やパネルなどを展示する予定です。作品を自由に読んだり、朗読会なども開催し、南吉の顕彰と普及に役立てたいと思います。南吉にちなんだイベントや周年事業で「新美南吉絵本大賞」も継続し、全国に「安城南吉」を発信し続けたいと思います。

◆いつまでも住み慣れた地域で暮らしていける福祉のまち

●意見 明祥地区に福祉センターができると思います。

施設の職員や、福祉に携わる人を増やし、多くの企画をしていただき、その活動がうまく住民に伝わるようにしてほしい。

福祉センターの中で、お年寄りのサロンなどを開催すれば良いPRにもなると考えます。実際に建物ができるてもソフト面ができていないと、せっかくの建物が活用できません。良い運営をしてほしい。

●**回答** 平成28年4月オープンを目指し、明祥地区に福祉センターを建設しています。現在、この地区では、地区社会福祉協議会の職員を配置し、地域の見守り活動の支援など、他の地域と同様の取り組みをしています。したが、福祉センターが置かれている地域と比較すると、それぞれの福祉センターで企画されている定期的な高齢者講座、介護予防講座などは開催されていませんでした。今後は、正式に福祉センターの位置づけで新しい施設を開設します。他の地域と同様に高齢者講座、介護予防講座

座など定期的に開催していけるような、体制づくりをしたいと思っています。



(仮称)明祥地域複合施設の外觀(イメージ)

◆中小企業のこれからと経営課題

●意見 今、日本中でさまざまな災害が起きています。安城は海や山から離れています。が、東南海地震などに対して、BCP（災害時の事業継続計画）対策が必要と言われています。市としての対策はどうなっていますか。自社で、どれほど備えるべきか。従業員に対してどう指導すべきか。教えてほしい。

●**回答** 市では、一刻も早い復興復興のため、市の業務を立て直すBCPを策定しています。民間企業の皆さんも、帰宅困難な社員にどう対応するのか、操業停止が長引いたらどうするのかなど、それぞれの内容に対してBCPを立てておく必要があると思います。市では、「がんばる中小企業応援事業」として、BCP策定事業への補助金があります。ぜひ活用していただきたいと思います。

企業の備えとしては、少なくとも自社で働いている人の食料や生活用品の備蓄をお願いします。市では、避難生活を余儀なくされる人への最低限の物資しか備蓄していません。基本的に最低3日分の水・食料を備蓄していただけばと考えます。

◆**共助力の向上および地域連携について**

消防団員確保への協力を

●意見 市の消防団は、分団数30分団、団員数404人で構成されています。しかし現在、消防団員の確保が非常に困難となっています。3年任期でうまく人員確保できている分団もあります。が、ほとんどの分団は交代する団員がなかなか見つからず、在

職年数が10年を超える団員もいます。消防団員が5年程度で入れ替わることができれば、自主防災組織に消防団OBが増え、消防団で培った防災力が活かされ、今よりも、さらに消防団と地域の連携がスムーズになり、地域の共助力の向上につながるかと考えています。また、消防団の活動は団員自身の負担が大きいのはもちろんのこと、その家族にも大きな負担となっています。これらの負担を少しでも軽減することが必要であると考えます。

●**回答** 消防団員確保の問題は深刻になっていると感じています。各町内会の皆さんがずいぶん骨を折られ、対象者に話をさされていると聞きます。今後は、消防署や市の防災担当もそのような場に同席し、消防団員の正しい活動の姿が、きちんと相手



消防団操法競練会の様子

に伝わるようにしていきたいと思っています。今の体制を無理に維持しても消防団の皆さんに過大な負担がかかるといけないので、

地域ごとに話し合い、地域割りを
変えたり、場合によっては、
分団の合併など考えなくては
いけないかもしれません。団長さ
んからも提案や意見があれば、
教えていただきたいと思います。
ます。

さらに、各企業が協力してくださるように、協力的な事業所には「この事業所は、消防団に特別な協力をしていただいています」などと表示するものを市から渡し、企業のイメージアップにつながる方策もあるのではと考えています。

ご利用ください
ご意見BOX

あなたの声が市長に届くご意見BOX。市政に对する意見や提案をいただき、今後の行政に役立てていきたいと考えています。未来の安城を育てるための前向きな意見や提案をお待ちしています。

用紙は、市役所1階
案内・各地区公民館な
どで配布していますの
で、利用してください。

[illegible]